

2020年2月12日

ロンシャン 2020年秋冬ランウェイショー

ロンシャンは、クリエイティブ・ディレクターのソフィ・ドゥラフォンテーヌにとって4度目となるニューヨーク・ファッションウィークにて、ロンシャン2020年秋冬コレクションを発表いたしました。ソフィは、新しいものや次にくるものを絶えず求めて前進し続けるパリジェンヌの姿にインスピレーションを得て、固定観念にとらわれず様々な顔を併せ持ちながら自身の人生を主役として生きる女性像を、全40ルックに描き出しました。



※一段目左から LOOK 1, 2, 4、二段目左から LOOK 6, 14, 17、三段目左から LOOK 19, 24, 32、四段目左から LOOK 33, 39, 40

LONGCHAMP

P A R I S

<画像素材>

Runway Images Courtesy of Longchamp:

<https://bpcm.box.com/s/53cmcfg8vpgexx3vm4k4lu48zij2udn7>

VIP Images Courtesy of Getty:

<https://bpcm.box.com/s/2q3hilij5je8758swgp0xbpncug4afjt>

VIP Images Courtesy BFA:

<https://bpcm.box.com/s/bllij5mixbrby24r3toxogh8yfuzxaty>

Kendall Jenner Images ※ご掲載の際は、クレジットとして Getty あるいは BFA を併記ください

<https://bpcm.box.com/s/dtmcanuv7aimg4vh1g32dadaty17hlot>

※バックステージ画像や動画素材をご希望の方は、PR までご連絡ください

<日時・場所>

2020年2月8日(土) 1:00PM

Hudson Commons, 441 9th Avenue, New York

<インスピレーション>

ソフィにとって、コレクション製作の出発点は70年代でした。70年代とは、自由な精神を象徴した時代であり、カトリーヌ・ドヌーヴ、ロミー・シュナイダー、ステファニー・オードランをはじめとする、時代の寵児となった女性たちの手により、自己表現が社会に浸透した時代でもありました。彼女たちが持つ個性的なスタイルは、他のすべての人とは一線を画す独特な視点の表れであり、本コレクションにはそんなパリジェンヌの本質がはっきりと反映されています。パリジェンヌとは、個人主義と表現の自由という自分らしさを纏い、エフォートレスでシック、シネマチック、そして常に自身の人生を主役として生きる女性なのです。

<プレタポルテ>

アンサンブルは、いずれも単独で独特のムードを吹き込むことができ、また豊かな色合いと質感で見事なコーディネートを実現することも可能です。シアリングウールの襟が印象的なボンバージャケットは、ミディ丈スカートまたはライトウールに施された刺繍が特徴的な黒のシアードレスを上から包み込みます。レザーのバミューダショーツには、模様をあしらったセーター、プリントがにぎやかなブラウス、またはケーブを合わせました。しなやかに揺れるロングドレスには、車のパーツを元にした目を奪う幾何学模様の“メカノ”プリントを施しました。すね丈コートは、上半身にしっかりとフィットしながら徐々に広がり、美しいシルエットをつくり出します。

ロンシャン・ジャパン株式会社

マーケティング&コミュニケーション部 PR 伊藤 (y.itoh@longchampjapan.co.jp)

TEL 03-3478-1705 FAX 03-3478-1771 渋谷区神宮前 4-30-4 エムズクロス表参道 3F

LONGCHAMP

P A R I S

<カラーパレット>

レザーのコニャック、スエードのテラコッタ、そしてパテントレザーのレッドは、巧みに繋ぎ合わされて落ち着きを保ちながらも、エネルギーとバイタリティを伝えています。またこのカラーパレットは、ヨゼフ・アルバースのカラフルな作品と、ジョン・チェンバレンの解体された自動車で作られた彫刻の鮮明な色調を彷彿とさせます。そしてレースカーを連想させるスピードとダイナミズムは、本コレクションのカラーパレットやプリントだけでなく、シルエットのボリュームや構造のなかにもはっきりと捉えることができます。

<スタイリング>

本コレクションの大胆なムードを和らげているのは、しなやかさと女性らしさを吹き込むベルトと、70年代を想起させる柔らかく心地良い雰囲気をつらなニットです。また、シルエットをさらに洗練させコントラストを加えるのは、グリーン、イエロー、シルバーなどの明るいカラーで彩ったニーハイブーツです。つま先革にボールとチェーンがついたディテールが特徴で、本コレクションのラインナップにエネルギーを注ぎこんでいます。

<バッグコレクション>

今シーズンは、再解釈が加えられたロンシャンのアイコン的なバッグコレクションがアクセントをもたらします。「Le Pliage® (ル プリアージュ®)」は、ナノからオーバーサイズまで様々なサイズ展開で注目を集める一方、シグネチャーの“バンブー”トグルが特徴的な「Roseau (ロゾ)」には、これまでにないアーキテクチャルなシルエットが与えられました。またソフィは、ロンシャンウーマンが若かりし時代に手にしたタイムレスなヘリテージスタイルであり、ブランド初の“it”バッグである「Longchamp 1980」を復活させました。クロコダイルレザーやパイソンに似せてつくられたエンボス加工のカーフスキンから、“メカノ”プリントをつくり出すコントラストレザーのコンビネーションまで、すべてのアイテムに個性とスタイルが詰め込まれています。

<来場セレブリティ>

ケンダル・ジェンナー、のん、アシュレイ・ベンソン、ストーム・レイド、ライラ・モス、モリー・ゴードン、アレクサンドラ・シップ、レイナ・ブルーム、アンジェラ・サラフィアン、ココ・ロシヤ、ルナ・ブレイズ、ベイリー・マディソン、レオミー・アンダーソン、ガブリエル・カウネシル、ミア・モレッティ、ラーセン・トンプソン、クリッセル・リム、ブリタニー・ザビエルその他、ゲストにルカ・サバト、トミー・ドーフマン、テッサ、メアリー・リースト、パム・アリエなど *いずれもロンシャン着用

ロンシャン・ジャパン株式会社

マーケティング&コミュニケーション部 PR 伊藤 (y.itoh@longchampjapan.co.jp)

TEL 03-3478-1705 FAX 03-3478-1771 渋谷区神宮前 4-30-4 エムズクロス表参道 3F

LONGCHAMP

P A R I S

【ロンシャンについて】

1948年にフランス パリでジャン・キャスグランが創業した、現代性溢れるラグジュアリーとクリエイティビティ、ダイナミズムが融合したメゾンブランド。パイプにハンドステッチレザーを巻いた、世界初のラグジュアリー革巻きパイプからはじまったブランドは、70年以上に及ぶヘリテージを踏襲しながら、現代に生きるロンシャン ウーマンを彩るスタイルを発信し続けています。ロンシャンは、1993年に発表した、折り紙からインスパイアされた「Le Pliage® (ル プリアージュ®)」やバンブーのトグルが印象的な「Roseau (ローズ)」など、フランスのサヴォアフェールが宿るアイコンックかつタイムレスなバッグコレクションを世に送り出してきました。現在は、クリエイティブ・ディレクター ソフィ・ドゥラフォンテーヌのもと、ブランドアンバサダーであるケンダル・ジェンナーとタッグを組み、フレンチ・エレガンスを再解釈したプレタポルテや、レディース・メンズ向けのバッグ、アクセサリ、シューズ、アイウェア、トラベル用品を毎シーズン発表しています。

家族経営の伝統を守るロンシャンは、今もキャスグラン家が所有・経営、世界80か国に300を超える直営ブティックを所有しています。日本では、2019年7月に「ロンシャン ラメゾン銀座」が誕生し、フラッグシップである表参道・銀座のラメゾンを含む52ストアを擁します(2019年12月時点)。また、フランス・セグレに構えるアトリエを拠点にクラフトマンシップを重んじるロンシャンは、2007年以降、フランス政府により無形文化財企業に認定されています。

【掲載時のお問い合わせ先】

ロンシャン (ロンシャン・ジャパン) TEL 0120-150-116

公式オンラインストア <http://jp.longchamp.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/Longchamp.japan>

Instagram <https://www.instagram.com/longchamp/>

Twitter http://twitter.com/Longchamp_JP

LINE @Longchamp.Japan

ロンシャン・ジャパン株式会社

マーケティング&コミュニケーション部 PR 伊藤 (y.itoh@longchampjapan.co.jp)

TEL 03-3478-1705 FAX 03-3478-1771 渋谷区神宮前 4-30-4 エムズクロス表参道 3F